

第63回中日理論言語学研究会

中国語の複合動詞はどこで形成されるのか ー北京官話と江淮官話の比較からー

沈力・楊苗苗
同志社大学

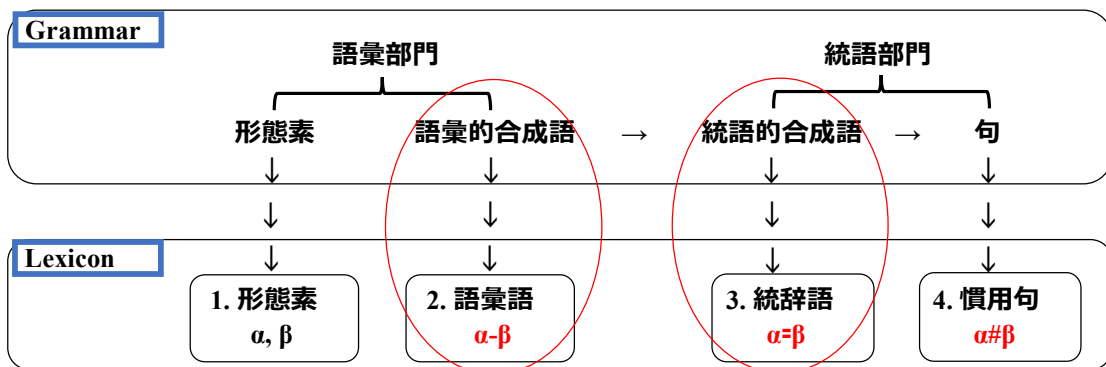
同志社大学大阪サテライト 26th, 01, 2025

1

1. 語形成の普遍性と多様性

- ・二部門語形成仮説 (Cf. Lapointe 1980, Baker 1988, 影山 1993)
✓ 影山(1993:6)によれば、語は語彙部門と統語部門の両方で形成される。

図1 二部門語形成モデル



2

2

• 根拠：語彙レベルで形成された合成語は統語レベルで分離できない。

✓Lapointe (1980: 8): Lexical Integrity Hypothesis

“No syntactic rule can refer to elements of morphological structure.”

(1) 2 種類の複合動詞

- a. [tatsu(断つ)] + [kiru(切る)] → [tachi - kiru(断ち切る)]
 b. [yomu(読む)] + [hajimeru(始める)] → [yomi = hajimeru(読み始める)]

(2) 使役動詞[=ase]によって再編されうるかどうか

- a. *[tat =ase - kiru] (*断たせ切る)
 b. [yom = ase = hajimeru] (読ませ始める) (Cf. 影山1993)

(3) 敬語形式「o～ni naru」によって再編されうるかどうか

- a. *[o = tati ni nari = kiru] (*お断ちになり切る)
 b. [o = yomi ni nari = hajimeru] (お読みになり始める)

3

3

• 二部門語形成仮説への反証

✓典型的単音節言語であるチワン語の合成語は連続変調によって示されている。

- (4) a. 碗[ŋwa:n⁵⁵] + 陶[θɪk^{5u}] → 陶器[ŋwa:n⁵⁵⁻³³ = θɪk^{5u}]
 b. 賣[ka:j³⁵] + 買[ɕəw²¹²] → 賣買[ka:j³⁵⁻³³ = ɕəw²¹²]
 c. 菜[pək^{5u}] + 白[ha:w³⁵] → 白菜[pək^{5u-3u} = ha:w³⁵]
 d. 名[mi:ŋ⁴²] + 称[ɕo:²¹] → 名称[mi:ŋ⁴²⁻²¹ = ɕo:²¹]
 e. 刀[ɕa:²¹²] + 菜[pək^{5u}] → 包丁[ɕa:²¹²⁻²¹ = pək^{5u}]
 f. 子[lug^{3u}] + 孫[la:n³⁵] → 子孫[lug^{3u-1u} = la:n³⁵]

✓連続変調は統語部門の制約を受けなければならない。(Cf. 沈・韋2023:41)

(5) 連続変調の統語的条件：

単純語xとyが統語構造で第一姉妹関係(First Sister Relation)を成していれば、そのxとyの連続体には連続変調が生起する。

4

4

✓統語的合成語に関するSelkirk(1982: 37)のThe first Order Projection Condition(FOPC)を受け入れれば、連続変調を持っている連続体はチワン語の統語的合成語として見なすことができる。

(6) 統語構造における第一姉妹関係



A. Complementationの関係

- (7) 他動詞
- a. kok^{5u} $[\text{k}\text{ɿ}\text{n}^{35_33}$ $\text{mo:w}^{35}]$ kwa:^{33}
 tiger eat=pig PERF
 ‘虎は豚を食べた。’
- b. kok^{5u} $\text{k}\text{ɿ}\text{n}^{35}$ $[\text{mo:w}^{35_33}$ $\text{h}\text{u}\text{ŋ}^{35}]$
 tiger eat pig=big
 ‘虎は大きい豚を食べる。’

5

5

- (8) 自動詞
- a. ma:^{35} ni:n^{42} kwa:^{33}
 dog sleep PERF
 ‘犬が寝た。’
- b. $^{\text{h}}\text{da:n}^{35}$ hom^{42}
 body itchy
 ‘体が痒い。’

- (9) 類別詞
- a. $\text{θ}\text{ɔŋ}^{35}$ $[\text{tu:}^{42_21}$ $\text{ma:}^{35}]$
 two CL=dog
 ‘二匹の犬’
- b. $\text{θ}\text{ɔŋ}^{35}$ tu:^{42} $[\text{ma:}^{35_33}$ $\text{me:}^{21}]$
 two CL dog=female
 ‘二匹の雌犬’

6

6

B. Modificationの関係

- (10) 名詞句 a. $tu:42$ [$ma:35-33$ $ʔdəm35$] $ʔi:33$ $lo:w42$
 CL dog=black small IND
 ‘一匹の小さくて黒い犬’
 b. [$ka:35-33$ $pa:j55$] [$tu:42-21$ $ko:w35$]
 foot=walk LN(GEN)=1sg
 ‘私のチキン’

- (11) 動詞句 a. $te:35$ [$nɪn42-21$ $kwa:j42$] $kwa:33$ [kwa:j42: 様態副詞]
 3sg sleep=lately PERF
 ‘彼は遅く寝た。’
 b. $ki:w42$ $ʃu:ŋ55$ $ho:w55$ $kwa:33$ [$ʃu:ŋ55$: 全量副詞]
 ball all enter PERF
 ‘ボールは全部入った。’

- 第一姉妹で示された連続体は統語構造でもっとも最小の構成素を成している。この最小の構成素は連続変調によって示される合成語であるとみることができる。

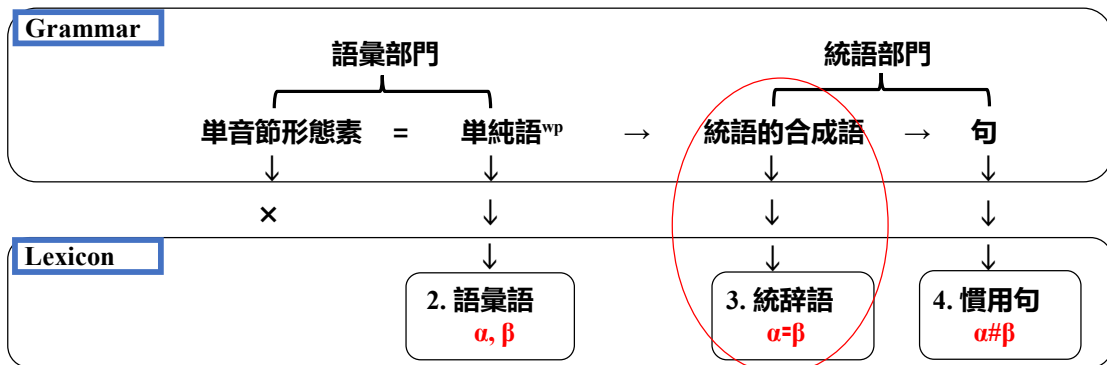
7

7

・ 本発表の提案

- ✓語形成の階層性は、自然言語の類型論的な制約に従う必要がある。具体的には、多音節言語において合成語は語彙部門と統語部門の両方で形成されるのに対し（図1のモデルを参照）、単音節言語では合成語が統語部門でのみ形成される。（cf. 沈・韋 2023:41）

図2 単音節言語の語形成モデル (ex. チワン語)



8

8

• 中国語における語形成は統語レベルで形成されているのだろうか。

✓Sapir (1921: 112), Bloomfield (1933:182): 孤立的言語の特徴

合成語 = 句

✓Chao (1968: 151): pause and potential pause as a word markers

合成語 ≠ 句

(12) Wo²¹⁴ qu⁵¹ [li²¹⁴-fa⁵¹]. ‘私は散髪に行く。’ 合成語の関係

我 去 理发

a. Wo²¹⁴ (ya) qu⁵¹—li²¹⁴—li²¹⁴—, [li²¹⁴-fa⁵¹].

b. *Wo²¹⁴ (ya) qu⁵¹—li²¹⁴—[li²¹⁴]—, [fa⁵¹].

(13) Wo²¹⁴ yao⁵¹ [li²¹⁴-yi⁵¹-li²¹⁴ tou³⁵-fa⁵¹]. ‘私は髪の毛を整えたい。’ 句の関係

我 要 理一理 头发

a. Wo²¹⁴ yao⁵¹ li²¹⁴—, [li²¹⁴-yi⁵¹-li²¹⁴]—, [li²¹⁴-yi⁵¹-li²¹⁴ tou³⁵-fa⁵¹].

b. Wo²¹⁴ yao⁵¹ li²¹⁴—, [li²¹⁴-yi⁵¹-li²¹⁴]—, [tou³⁵-fa⁵¹].

★北京語の合成語は日本語の合成語と同じ性質を持っているのだろうか。

9

9

2. 北京官話の合成語の階層性について

2.1. 北京官話の合成語の音韻的特徴

• 合成語とは

合成語は結束性(cohesiveness)を持つ連続体である。その結束性は、語調(word prosody)を持つ言語では、「語調統合(Prosody Integration)」または「語調調整(Prosody Adjustment)」で標示される。
(Cf. 窪園1995:54、早田1999:63)

• 2種類の語調：

単音節言語の合成語は“語調調整(PA)”で形成されるが、多音節言語の合成語は一般に“語調統合(PI)”で形成される。

10

10

(14) チワン語のPA形式: $\alpha^{wp} + \beta^{wp} \rightarrow [\alpha^{wp'} = \beta^{wp}]$

a. “ŋwa:n⁵⁵ (茶碗)” + “θik^{5u} (陶)” → “ŋwa:n⁵⁵⁻³³ = θik^{5u} (陶器)”

b. “ka:j³⁵ (賣る)” + “ɛəu²¹² (買う)” → “ka:j³⁵⁻³³ = ɛəu²¹² (売買)”

(15) 日本語のPI形式: $\alpha^{wp} + \beta^{wp} \rightarrow [\alpha - \beta]^{wp}$

a. “u[ba]u (奪う)” + “[a]u (合う)” → “u[bai-a]u (奪い合う)”

b. “[na]na (七)” + “[ne]n (年)” → “na[na]-nen (七年)”

(16) 日本語の統語的合成語: $\alpha^{wp} + \beta^{wp} \rightarrow [\alpha^{wp} = \beta^{wp}]$

a. “[mo]to (元)” + “[tsu]ma (妻)” → “[mo]to = [tsu]ma (元妻)”

b. “[ron]don (ロンドン)” + “shu[cchoo] (出張)”
→ “[ron]don = shu[cchoo] (ロンドン出張)”

- では、北京官話の合成語はどんな形式を取っているのだろうか。

11

11

- 北京官話の連続変調には**線状的制約**がある。

線状的規則

(17) 連続変調に関する音韻的条件

$$\sigma^{214} \rightarrow \sigma^{35} / _\sigma^{214}$$

- 北京官話の連続変調は**階層的制約**を受ける。

階層的規則

(18) 二音節語: [yu²¹⁴⁻³⁵ (雨) = san²¹⁴ (傘)]

雨傘

2 + 1: [yu²¹⁴⁻³⁵ (雨) = san²¹⁴⁻³⁵ (傘)] = chang²¹⁴ (厂)

雨傘工場

(19) 二音節語: [lao²¹⁴⁻³⁵ (老) = shu²¹⁴ (鼠)]

マウス

1 + 2: mi²¹⁴ (米) [lao²¹⁴⁻³⁵ (老) = shu²¹⁴ (鼠)]

ミッキーマウス

(20) 借用語「索马里(ソマリア)」

2 + 1: [suo²¹⁴⁻³⁵ (索) = ma²¹⁴⁻³⁵ (马)] = li²¹⁴ (里)

cf. 馮勝利1997

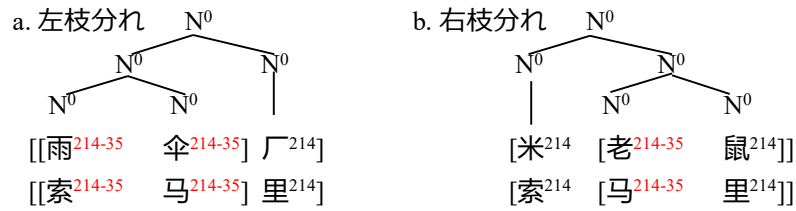
1 + 2: suo²¹⁴ (索) [= ma²¹⁴⁻³⁵ (马) = li²¹⁴ (里)]

cf. 郭德刚&于谦

12

12

(21) 統語構造 (cf. 王洪君2011:249)



• 連続変調は句にも生起する。

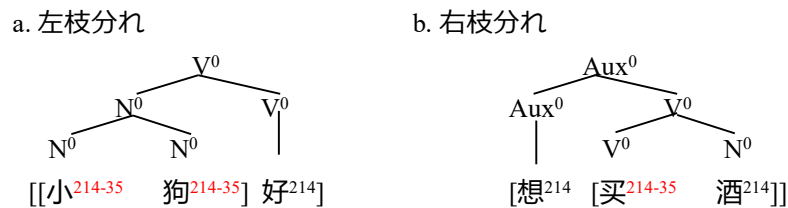
(22) 修飾：[xiao²¹⁴⁻³⁵ (小) = gou²¹⁴ (狗)] 小さい犬
 主述：[xiao²¹⁴⁻³⁵ (小) = gou²¹⁴⁻³⁵ (狗)] = hao²¹⁴ (好) 小さい犬がよい

(23) 動目：[mai²¹⁴⁻³⁵ (买) = jiu²¹⁴ (酒)] お酒を買う
 助動詞：xiang²¹⁴ (想) [mai²¹⁴⁻³⁵ (买) = jiu²¹⁴ (酒)] お酒を買いたい

13

13

(24) 統語構造



• Chao1968の観点：北京官話の連続変調は**語形成(語彙語)**のマーカーではないと主張。
 理由：連続変調は語にも句にも適用するからである。

• 本論文の観点：統語的階層性の制約を受ける連続変調は、統語的結合体を表示するためである。なので、連続変調は**統語的合成語**のマーカーになっている。

- ★「雨伞厂，米老鼠」は連続変調後、語彙登録した結合体
- ★「小狗好，想买酒」は連続変調後、語彙登録しない結合体

14

14

- 反証

(25) 順行連続変調規則 cf. 王洪君(2011)

北京官話では、連続変調が単音節の要素において左から右へと順に起こる。

- 発話速度が速い場合、1+2の構造でも左から右への順に連続変調する。

(26) a. [想²¹⁴⁽⁻³⁵⁾ [买²¹⁴⁻³⁵ 酒²¹⁴]] 吗?

b. [你²¹⁴⁽⁻³⁵⁾ [买²¹⁴⁻³⁵ 酒²¹⁴]] 吗?

- (26)の成立は明らかに統語的階層性に関係なく、(25)の音韻規則に基づいている。

- 本研究の解釈：

北京官話には統語的合成語だけではなく、音韻的合成語も存在する。「発話速度が速い」ことを条件に、北京官話には「形態的結合体」が音韻レベルで起こることも可能である。
Cf. 第三章連雲港方言

15

15

- 北京官話には「PA外れの合成語」がある。

(27) 北京語のPA形式： $\alpha^{wp} + \beta^{wp} \rightarrow [\alpha^{wp'} = \beta^{wp}]$

a. “fan²¹⁴ (反)” + “xing²¹⁴ (省)” $\rightarrow$ [fan²¹⁴⁻³⁵ = xing²¹⁴] (反省する)

b. “jian²¹⁴ (检)” + “tao²¹⁴ (讨)” $\rightarrow$ [jian²¹⁴⁻³⁵ = tao²¹⁴] (検討する)

(28) 北京語のPAはずれ： $\alpha^{wp} + \beta^{wp} \rightarrow [\alpha = \beta]^{wp-0}$ (軽声化)

a. “shi³⁵ (拾)” + “duo⁵⁵ (掇)” $\rightarrow$ [shi³⁵ - duo⁰] (いじる)

b. “zhuo³⁵ (琢)” + “mo³⁵ (磨)” $\rightarrow$ [zhuo³⁵ - mo⁰] (熟慮する)

- 小まとめ

- 北京官話の連続変調は統語的階層性に基づいて生起していることがわかる。
- 連続変調を語形成標識としてとらえれば、北京官話のPA合成語は統語的合成語だと言える。
- 「発話速度が速い」場合、順行連続変調規則が適用できることから、北京官話には韻律的結合体があると考えられる。
- 北京官話にはPAはずれの形式もある。

16

16

2.2. 北京官話の合成語の統語的特徴

✓まず、北京官話には動詞分離規則(Verb-Separation-Rule)がある。また、VSRが適用できるか否かを通じて、PA合成語は統語レベルでの二次派生を許容するが、PA外れの合成語はそれを許容しないことを示していく。

✓中国語の口語体における「什么(what)」で不満を表す「論難構文」がある。
(cf. 邵敬敏 1996)

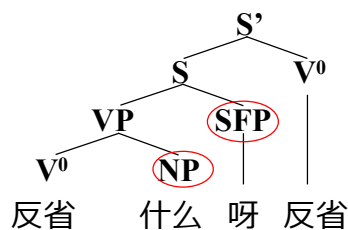
- (29) 甲: Ni²¹⁴ [fan²¹⁴⁻³⁵=xing²¹⁴] yi³⁵=xia⁵¹ zi⁵¹=ji²¹⁴ ba⁰. ‘君は自分自身を反省しなさい。’
 你 反省 一下 自己 吧
 2sg reflect one-CL yourself SFP
- 乙: a. [fan²¹⁴⁻³⁵=xing²¹⁴] shen³⁵=me⁰ ya⁰ [fan²¹⁴⁻³⁵=xing²¹⁴]. ‘ナニガ反省だ。’
 反省 什么 (呀) 反省
 reflect what SFP reflect
- b. [fan²¹⁴=shen³⁵=me⁰=xing²¹⁴] ya⁰. ‘同上。’
 反 什么 省 (呀)
 reflect=what=reflect SFP

17

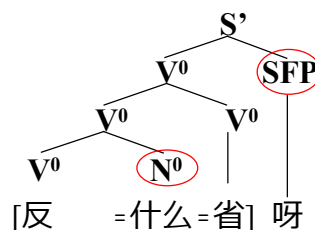
17

✓当該構文では、不満の原因が当該事件を表す動詞にあることを強調するために、2つの戦略がある。一つは動詞全体を文末へコピーする。もう一つは合成動詞の後項を目的語の後に移動するということである(Cf. 沈2006, 蔡2014)。

(30) a. Pure syntactic Str.



b. Morpho-syntactic Str.



18

18

✓根拠 1 : 目的語の位置に「語」しか来られない。

- (31) a. 反省 什么 自己 呀 反省。 5/5

reflect what myself SFP reflect

‘ナニガ自分を反省するダ。’

- b. *[反 什么 自己 省] 呀。 0/5

reflect = <what myself> =reflect SFP

‘同上。’

✓根拠2：句末助詞「呀」は2つの動詞の間に挿入できない。

- (32) a. *反 什么 呀 省]。 0/5

reflect=what=<SFP>=reflect

‘ナニガ反省ダ。’

- b. [反 什么 省] 呀。 5/5

reflect=what=reflect **SFP**

‘同上。’

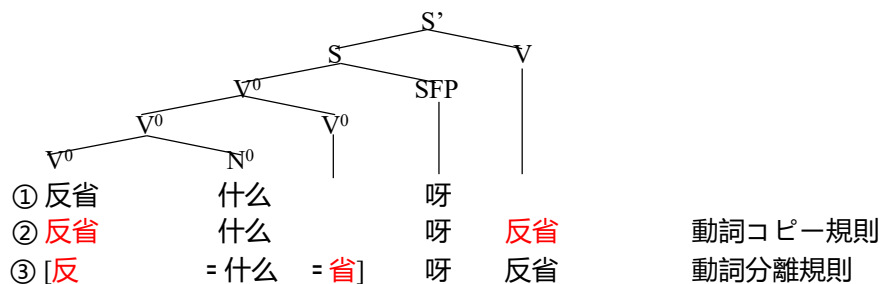
19

19

✓根拠3：動詞分離規則の適用は動詞コピーの前でも後でも可能である。

- (33) [反 什么 省] 呀 反省。 ‘ナニガ反省するダ。’ 3/5

```
reflect=what=reflect SFP reflect
```

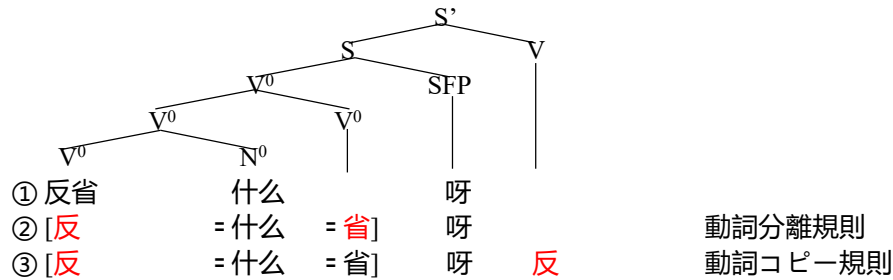


- (33)文の成立には次の規則適用規則(rule order)が考えられる。
【動詞コピー規則の適用>動詞分離規則の適用】

20

20

(34) [反 什么 省] 呀 反。 ‘ナニガ反省するダ。’ 3/5
 reflect=what=reflect SFP reflect



- (34)文の成立には次の規則適用規則(rule order)が考えられる。
 【動詞分離規則の適用 > 動詞コピー規則の適用】

21

21

- Lapointe(1980)と影山(1993)で提案された「照応の島」は語彙語と統辞語を区別する規則ではない。

• **Lexical Integrity Hypothesis “词汇凝聚性假说”**

(35) 照応規則の制限(Spencer 1991)

- a. He took the [tea-pot]_i and handed it_i to me.
 b. *He took the [tea_i-pot] and poured it_i (=tea) into the cup.

- 照応規則は語彙化(レキシコン登録)した合成語には適用できない規則なので、北京官話のPA合成語にも適用できない。

- (36) a. 他 拿起 [茶壶]_i, 把 [它]_i 递给了 我。 ‘cf. (35a)’
 3sg take=rise tea=pot BA 3sg hand=give=PERF 1sg
 b *他 拿起 [茶壶]_i, 把 [它]_i 倒进 茶杯里。 ‘cf. (35b)’
 3sg take=rise tea=pot BA 3sg pour=enter tea=cup=in

22

22

✓本研究の提案：“語彙語不可分仮説”

語彙的合成語は統語レベルで分離できないが、統語的合成語は統語レベルで分離できるというテストが適切であろう。

• 日本語の語彙語“勉強 (ben - kjoo)”と北京官話の統辞語“学习 (ɕye³⁵ = ɕi³⁵)”の比較

(37) Japanese

甲：chotto ben-kjoo = ɕi joo ka. ‘ちょっと勉強しようか。’
a little learn = do MOD SFP

乙：a. nani-ga [ben-kjoo] = suru da. ‘ナニガ勉強するダ。’
what-NOM. learn = do COP

b. *nani-ga [ben-] suru [-kjoo] da. ‘同上’
what-GEN learn- do -learn COP

(38) 甲：我们 [学习] 汉语 吧。 ‘中国語を勉強しようか。’
1pl learn Chinese SFP

乙：[学] 什么 [习] 呀？ ‘ナニガ勉強するダ。’
learn =what =learn SFP

23

23

• 4種類の意味関係を持つPA合成動詞にはすべてVSRが適用可能（検証省略）

(39) PA合成動詞：[α²¹⁴⁻³⁵ = β²¹⁴]

- a. Complementation: 比武(jousting)、洗澡(take a bath)、打盹(take a nap)
- b. Coordination: 检讨(examination)、讲解(explain)、保管(keep)
- c. Resultative: 减少(decrease)、喊醒(wake up)、赶走(kick out)
- d. Modification: 死守(defend at all costs)、海选(audition)、改选(re-election)

• 書き言葉的な動詞にはVSRが適用しにくいだが、罵語を挿入すれば言いやすくなる。

(40) 甲：Ni²¹⁴ [bang⁵⁵ = zhu³⁵] = [bang⁵⁵ = zhu⁵¹] ta⁵⁵. ‘彼を助けてください。’
你 帮 他 帮 助 他
1pl help = help 3sg

乙：a. ?[bang⁵⁵ = shen³⁵ = me⁰ = zhu³⁵] ‘ナニガ助けるダ。’
帮 什么 助
help = what = help

b. [bang⁵⁵ <ta⁵⁵ ma⁵⁵> = shen³⁵ = me⁰ = zhu³⁵] ‘ナニガ助けるダ。くそ’
帮 他 妈 什么 助
help <クソ> = what = help

24

24

• 北京語におけるPA外れの合成語とVSR

✓PI合成語のV2は轻声(無声調)なので、統語構造の語彙範疇の位置に生起できない性質を持っている。よって、VSRが適用できないと予想される。

(41) PA外れの合成動詞：

- a. [x²¹⁴-y⁰]: 打²¹⁴听 (ask about)、鼓²¹⁴搗 (tinker)、喜²¹⁴欢 (love)
 b. [xⁿ-y⁰]: 敲⁵⁵打⁰(beat)、琢³⁵磨⁰(think)、算⁵¹計⁰(trick)
 c. [xⁿ-y⁰] and [xⁿ-yⁿ]: 研³⁵究⁵⁵ or 研³⁵究⁰ (research)

(42) 甲: ni²¹⁴ xi²¹⁴=huan⁰ ta⁵⁵ ma⁰?
 你 喜欢 她 吗
 2sg love 3sg SFP
 ‘彼女のこと、好きですか。’

乙: *xi²¹⁴ shen³⁵=me⁰ =huan⁰, hai³⁵ mei³⁵ jian⁵¹ mian⁵¹ ne⁰.
 喜 什么 欢 还 没 见 面 呢
 love what love yet NEG look face SFP
 ‘とんでもない！あったこともないんですよ。’

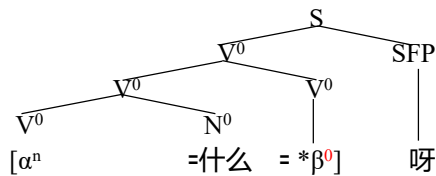
25

25

• 説明:

✓分離形式が遊離した先は語彙範疇の主要部(V⁰)の位置なので、この位置に自由形態素しか生起できない。

(43)



(44) 甲: 咱 得 研究 一下。
 1pl must research one=CL

‘私たちはちょっと検討しなくちゃ。’

乙: a. *研 什么 究(jiu⁰) 呀?
 research=what=research SFP

‘ナニガ検討だ。’ (1/5)

b. 研 什么 究(jiu⁵⁵) 呀?
 research=what=research SFP

‘同上。’ (4/5)

26

26

・小まとめ

- 北京官話におけるVSRはmorpho-syntaxレベルの語形成規則である。
- 北京官話のPA合成動詞にはすべてVSRが適用できることから、北京官話のPA合成語は統語的合成語であると考えられる。

27

27

3. 連雲港方言における合成語の階層性について

・3.1. 連雲港方言（江淮官話）の連続変調は統語的合成語の標識なの？

(45) 連雲港方言における5つの声調体制

a. 陰平 (σ^{51}) :	妈(ma^{51})、	多(tu^{51})、	哥(ku^{51})
b. 陽平 (σ^{13}) :	麻(ma^{13})、	河(xu^{13})、	婆($p'u^{13}$)
c. 上声 (σ^{31}) :	马(ma^{31})、	锁(su^{31})、	裹(ku^{31})
d. 去声 (σ^{35}) :	骂(ma^{35})、	爸(pa^{35})、	破($p'u^{35}$)
e. 入声 (σ^{13u}) :	八(pa^{13u})、	抹(ma^{13u})、	学($eyə^{13u}$)

・連雲港方言の連続変調の生起条件

(46) 低調化調整規則：

高音域 (4-5)にある声調がある声調音節に先行する場合、それが低くシフトされる。

- $51 \rightarrow 35$ / $_\sigma^{31}$
- $35 \rightarrow 35$ / $_\sigma^{51}$ or σ^{31}
- 31 / それ以外
- 31 / それ以外

28

28

(47) 高音域の51調（陰平）における連続変調

- a. “tɕua⁵¹ (抓)” + “tein³¹ (紧)” → tɕua⁵¹⁻³¹ = tein³¹ (つかまる)
 b. “ts‘ā⁵¹ (参)” + “teia⁵¹ (加)” → ts‘ā⁵¹⁻³¹ = teia⁵¹ (参加する)
 c. “bu⁵¹ (玻)” + “nɿ¹³ (璃)” → bu⁵¹⁻³¹ = nɿ¹³ (グラス)
 d. “tɕɿ⁵¹ (鸡)” + “tā³⁵ (蛋)” → tɕɿ⁵¹⁻³¹ = tā³⁵ (卵)
 e. “ɕəv⁵¹ (书)” + “tɕuəʔ^{13u} (桌)” → ɕəv⁵¹⁻³¹ = tɕuəʔ^{13u} (机)

(48) 高音域の35調（去声）における連続変調

- a. “ɕaŋ³⁵ (上)” + “tɕ‘ei⁵¹ (车)” → ɕaŋ³⁵ = tɕ‘ei⁵¹ (車に乗る)
 b. “xin³⁵ (信)” + “tɕɿ³¹ (纸)” → xin³⁵ = tɕɿ³¹ (びんせん)
 c. “ɕəv³⁵ (树)” + “lin¹³ (林)” → ɕəv³⁵⁻³¹ = lin¹³ (はやし)
 d. “ɕəv³⁵ (树)” + “kã³⁵ (干)” → ɕəv³⁵⁻³¹ = kã³⁵ (もとき)
 e. “ɕəv³⁵ (树)” + “ieʔ^{13u} (叶)” → ɕəv³⁵⁻³¹ = ieʔ^{13u} (葉)

29

29

(49) 高調化調整規則：

低調域 (1-3)にある声調がなんらか声調に先行する場合、それが高くシフトされる。

- 13 or 31 → 31 / σ⁵¹ • 13u → 31u / σ^{13u}
- 44 / それ以外 → 3u / それ以外

(50) 低音域の13調（陽平）における連続変調

- a. “mo¹³ (毛)” + “sɿ⁵¹ (衣)” → mo¹³⁻³¹ = sɿ⁵¹ (セーター)
 b. “t‘əu¹³ (头)” + “p‘ɿ¹³ (皮)” → t‘əu¹³⁻⁴⁴ = p‘ɿ¹³ (ふけ)
 c. “p‘iŋ¹³ (苹)” + “ku³¹ (果)” → p‘iŋ¹³⁻⁴⁴ = ku³¹ (りんご)
 d. “tɕ‘ɿŋ¹³ (城)” + “ɕɿ³⁵ (市)” → tɕ‘ɿŋ¹³⁻⁴⁴ = ɕɿ³⁵ (町)
 e. “ia¹³ (牙)” + “ɕuaʔ^{13u} (刷)” → ia¹³⁻⁴⁴ = ɕuaʔ^{13u} (歯ブラシ)

30

30

(51) 低音域の31調（上声）における連続変調

- a. “teĩ³¹ (剪)” + “to⁵¹ (刀)” → teĩ³¹ = to⁵¹ (はさみ)
 b. “iã³¹ (眼)” + “p‘¹³ (皮)” → iã³¹⁻⁴⁴ = p‘¹³ (まぶた)
 c. “ɣuei³¹ (水)” + “ku³¹ (果)” → ɣuei³¹⁻⁴⁴ = ku³¹ (果物)
 d. “ma³¹ (马)” + “ləv³⁵ (路)” → ma³¹⁻⁴⁴ = ləv³⁵ (道)
 e. “ma³¹ (买)” + “yəʔ^{13u} (药)” → ma³¹⁻⁴⁴ = yəʔ^{13u} (薬を買う)

(52) 低音域の13u調（入声）における連続変調

- a. “kəʔ^{13u} (隔)” + “pieʔ^{13u} (壁)” → kəʔ^{13u-31u} = pieʔ^{13u} (隣)
 b. “fəʔ^{13u} (发)” + “ɣo⁵¹ (烧)” → fəʔ^{13u-3u} = ɣo⁵¹ (風邪をひく)
 c. “ɣaʔ^{13u} (杀)” + “liu¹³ (牛)” → ɣaʔ^{13u-3u} = liu¹³ (牛を殺す)
 d. “xəʔ^{13u} (黑)” + “pā³¹ (板)” → xəʔ^{13u-3u} = pā³¹ (黑板)
 e. “iɛʔ^{13u} (一)” + “tiŋ³⁵ (定)” → iɛʔ^{13u-3u} = tiŋ³⁵ (ぜひ)

31

31

• 連雲港方言の連続変調は統語的な制約を受けるのだろうか。

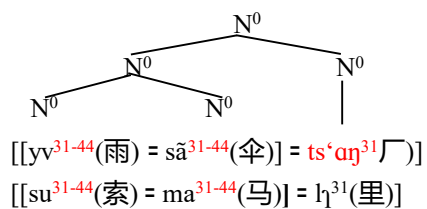
→ 順行変調規則はあるものの、階層性制約を受けない。

(53)=(25) 順行連続変調規則

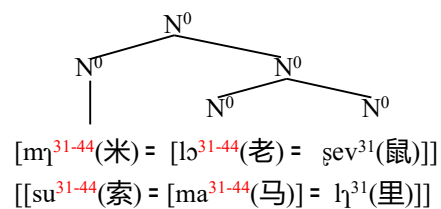
連雲港方言では、連続変調が単音節の要素において左から右へと順に起こる。

(54) 階層構造と順行規則のねじれ

a. 左枝分れ



b. 右枝分れ



32

32

(55) 2+1の構成

- a. バス: [公kəŋ⁵¹ + 交teio⁵¹] + 车tɕ⁵¹ei⁵¹ → [kəŋ⁵¹⁻³¹ = teio⁵¹⁻³¹] = tɕ⁵¹ei⁵¹
- b. 頭皮が痛い: [头t⁵¹əu¹³ + 皮p⁵¹ɿ¹³] + 疼t⁵¹ɿŋ¹³ → [t⁵¹əu¹³⁻⁴⁴ = p⁵¹ɿ¹³⁻⁴⁴] = t⁵¹ɿŋ¹³
- c. 雨傘工場: [雨y⁵¹v³¹ + 伞sã³¹] + 厂tɕ⁵¹an³¹ → [y⁵¹v³¹⁻⁴⁴ = sã³¹⁻⁴⁴] = tɕ⁵¹an³¹
- d. 动画映画: [动təŋ³⁵ + 画xua³⁵] + 片p⁵¹ɿ³⁵ → [təŋ³⁵⁻³¹ = xua³⁵⁻³¹] = p⁵¹ɿ³⁵
- e. 隣の部屋: [隔kəŋ^{13u} + 壁pieŋ^{13u}] + 屋uəŋ^{13u} → [kəŋ^{13u-31u} = pieŋ^{13u-31u}] = uəŋ^{13u}

(56) 1+2の構成

- a. 飛行機を直す: 修ey⁵¹ + [飞fei⁵¹ + 机teŋ⁵¹] → ey⁵¹⁻³¹ = [fei⁵¹⁻³¹ = teŋ⁵¹] 51→35/___σ31に違反
- b. ロバを買う: 骑te⁵¹ɿ¹³ + [毛mɔ¹³ + 驴lyv¹³] → te⁵¹ɿ¹³⁻⁴⁴ = [mɔ¹³⁻⁴⁴ = lyv¹³] 規則なし
- c. ミッキーマウス: 米mɿ³¹ + [老lo³¹ + 鼠ɕev³¹] → mɿ³¹⁻⁴⁴ = [lo³¹⁻⁴⁴ = ɕev³¹]
- d. テレビを観る: 看k⁵¹ã³⁵ + [电ti³⁵ + 视ɕ³⁵] → k⁵¹ã³⁵⁻³¹ = [ti³⁵⁻³¹ = ɕ³⁵] 35→35/___σ31に違反
- e. 落ち葉を拾う: 拾ɕaŋ^{13u} + [落luəŋ^{13u} + 叶ieŋ^{13u}] → ɕaŋ^{13u-31u} = [luəŋ^{13u-31u} = ieŋ^{13u}] 規則なし

- 「左から右へ」という順行連続変調規則でしか説明できない。

33

33

• 「文単位」でも順行連続変調規則の制約を受ける。

- (57) u³¹⁻⁴⁴ pəŋ^{13u-3u} eiã³¹⁻³¹ kən⁵¹⁻³⁵ ni³¹⁻⁴⁴ uã¹³
 我 不 想 跟 你 玩
 1sg Neg want with 2sg play
 ‘僕は君と遊びたくない。’

(58) 順行連続変調規則による説明

- a. [u13 → 44 / [___σ⁵¹] 以外 → 我 u³¹⁻⁴⁴ / __pəŋ^{13u}
- b. [pəŋ13u → 3u / [___σ^{13u}] 以外 → 不 pəŋ^{13u-3u} / __eiã³¹
- c. [eiã31 → 31 / [___σ⁵¹] → 想 eiã³¹⁻³¹ / __kən⁵¹
- d. [kən51 → 35 / [___σ³¹] → 跟 kən⁵¹⁻³⁵ / __ni³¹
- e. [ni31 → 44 / [___σ⁵¹] 以外 → 你 ni³¹⁻⁴⁴ / __uã¹³

- 連雲港方言では、複雑な統語構造を持っている文でも、連続変調は「左から右へ」という順行連続変調規則に基づいて生起することが観察される。

34

34

- 北京官話の合成語にはPA外れの形式があるが、連雲港官話の合成語にはそれがない。

(59) $\alpha^{wp} + \beta^{wp} \rightarrow [\alpha = \beta]^{wp-0}$ (軽声化)

- a. “ ʂa^{13u} (拾)” + “ taŋ^{35} (掇)” $\rightarrow [\text{ʂa}^{13u-3u} = \text{taŋ}^{35}]$ / * $[\text{ʂa}^{13u} - \text{taŋ}^0]$
- b. “ tʂuə^{13u} (琢)” + “ muə^{13u} (磨)” $\rightarrow [\text{tʂuə}^{13u-31u} = \text{muə}^{13u}]$ / * $[\text{tʂuə}^{13u} - \text{muə}^0]$

• 小まとめ

- 連雲港方言では、「語彙登録されたすべての語彙には連続変調が観察される」という事実から見れば、連続変調は当該方言で合成語の標識であると断定できる。
- 連続変調の生起は統語構造の階層的制約を受けないことから、連続変調によって表示される結合体は、統語レベルで形成されるとは言えない。
- 推測：これらの結合体は統語部門ではなく、音韻部門で形成されるのではないか。

35

35

3.2. 連雲港方言の合成語の統語的特徴

- ここで、次のような連雲港方言の合成動詞を分析対象とする。

(60) PA合成動詞の意味関係

- | | | |
|---------------------|---|------------|
| a. Complementation: | 负责 ($\text{fu}^{35-31} = \text{tʂə}^{13u}$) | “担当する” |
| | 洗澡 ($\text{sɿ}^{31-44} = \text{tʂə}^{31}$) | “お風呂に入る” |
| b. Coordination: | 锻炼 ($\text{tũ}^{35-31} = \text{lǐ}^{35}$) | “鍛える” |
| | 调查 ($\text{tiə}^{35-31} = \text{tʂ}^{\text{a}^{13}}$) | “調査する” |
| c. Resultative: | 减少 ($\text{tei}^{31-44} = \text{ʂə}^{31}$) | “減少する” |
| | 抓紧 ($\text{tʂua}^{51-35} = \text{tein}^{31}$) | “しっかりとつかむ” |
| d. Modification: | 反省 ($\text{fə}^{31-44} = \text{eiŋ}^{31}$) | “反省する” |
| | 毒害 ($\text{tuə}^{13u-3u} = \text{xə}^{35}$) | “毒殺する” |

- 結論：連雲港方言の合成動詞は統語部門で形成されない。

36

36

• Complementation

- (61) 甲： u³¹⁻⁴⁴ eiä³¹⁻⁴⁴ sɿ³¹⁻⁴⁴ tso³¹ . ‘私は風呂に入りたい。’
 我 想 洗澡
 lsg want bathe
- 乙： a. sɿ³¹⁻⁴⁴ tso³¹⁻⁴⁴ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ (a³⁵) sɿ³¹⁻⁴⁴ tso³¹ . ‘ナニガ風呂に入るダ。’
 洗澡 什么 啊 洗澡
 bathe what SFP bathe
- b. sɿ³¹⁻⁴⁴ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ tso³¹ a³⁵ . ‘同上。’
 洗 什么 澡 啊
 bathe what bathe SFP
- c. sɿ³¹⁻⁴⁴ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ (a³⁵) tso³¹ (a³⁵) ‘同上。’
 洗 什么 啊 澡 啊
 bathe what SFP bathe SFP

37

37

• Coordination

- (62) 甲： ni³¹⁻⁴⁴ iɔ³⁵ tu⁵¹⁻³¹ tũ³⁵⁻³¹ li³⁵ (a³⁵) . ‘もっと運動した方がいいのよ。’
 你 要 多 锻 炼 啊
 2sg must lot exercise SFP
- 乙： a. tũ³⁵⁻³¹ li³⁵⁻³¹ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ (a³⁵) tũ³⁵⁻³¹ li³⁵ . ‘ナニガ運動するダ。’
 锻 炼 什么 啊 锻 炼
 exercise what SFP exercise
- b. tũ³⁵⁻³¹ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ li³⁵ a³⁵ . ‘同上。’
 锻 什么 练 啊
 exercise what SFP exercise
- c. tũ³⁵⁻³¹ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ (a³⁵) li³⁵ (a³⁵) . ‘同上。’
 锻 什么 啊 练 啊
 exercise what SFP exercise SFP

38

38

• Resultative

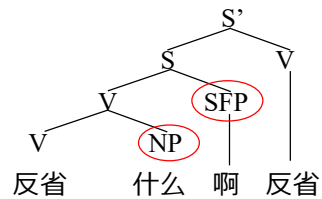
- (63) 甲：ni³¹ iŋ⁵¹⁻³¹ ka⁵¹⁻³⁵ te^{ɿ³¹⁻⁴⁴} ʂo³¹ k'a⁵¹⁻³¹ tɕɿ⁵¹. ‘支出を減らすべきだ。’
 你 应该 减少 开支
 2sg should exercise expenditure
- 乙：a. te^{ɿ³¹⁻⁴⁴} ʂo³¹⁻⁴⁴ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ (a³⁵) te^{ɿ³¹⁻⁴⁴} ʂo³¹. ‘ナニガ減らすダ。’
 减少 什么 啊 减少
 exercise what SFP exercise
- b. te^{ɿ³¹⁻⁴⁴} ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ ʂo³¹ a³⁵. ‘同上。’
 减 什么 少 啊
 exercise what exercise SFP
- c. te^{ɿ³¹⁻⁴⁴} ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ (a³⁵) ʂo³¹ (a³⁵). ‘同上。’
 减 什么 啊 少 啊
 exercise what SFP exercise SFP

39

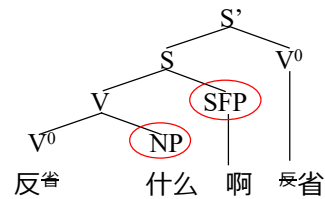
39

- (64) 甲：ni³¹⁻⁴⁴ xo³¹⁻⁴⁴ xo³¹⁻⁴⁴ fã³¹⁻⁴⁴ eiŋ³¹ fã³¹⁻⁴⁴ eiŋ³¹. ‘君、よく反省しなさい。’
 你 好 好 反省 反省
 2sg good good reflect reflect
- 乙：a. fã³¹⁻⁴⁴ eiŋ³¹⁻⁴⁴ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ (a³⁵) fã³¹⁻⁴⁴ eiŋ³¹. ‘ナニガ反省ダ’
 反省 什么 啊 反省
 reflect what SFP reflect
- b. fã³¹⁻⁴⁴ ʂən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ (a³⁵) eiŋ³¹ (a³⁵). ‘同上。’
 反 什么 啊 省 啊
 reflect what SFP reflect SFP

(65) a. syntactic Str.



b. syntactic Str. <+部分削除規則?>



40

40

根拠 1 : すべての分離形式の間に文末助詞の挿入が可能である。Cf. (61-64)

根拠 2 : 名詞句「自己」が分離した形式の間の目的語の位置に来ることができる。

(66) 甲 : ni³¹⁻⁴⁴ fã³¹⁻⁴⁴ eiŋ³¹ fã³¹⁻⁴⁴ eiŋ³¹ ni³¹⁻⁴⁴ tsɿ³⁵ tsɿ³¹.
 你 反省 反省 你 自己
 2sg reflect reflect your self
 ‘君、自分を反省しなさい。’

乙 : a. fã³¹⁻⁴⁴ eiŋ³¹⁻⁴⁴ [NP ɣən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ tsɿ³⁵ tsɿ³¹] (a³⁵) fã³¹⁻⁴⁴ eiŋ³¹.
 反省 什么 自己 啊 反省
 reflect what myself SFP reflect
 ‘ナニガ自分を反省するダ。’

b. ?fã³¹⁻⁴⁴ [NP ɣən¹³⁻⁴⁴ mu¹³⁻⁴⁴ tsɿ³⁵ tsɿ³¹] (a³⁵) eiŋ³¹.
 反 什么 自己 啊 省
 reflect what myself SFP reflect
 ‘同上。’

注 : (乙b)は、話者が怒ったときににしか言えない。

41

41

4. 結論

・単音節言語における語形成の階層性について

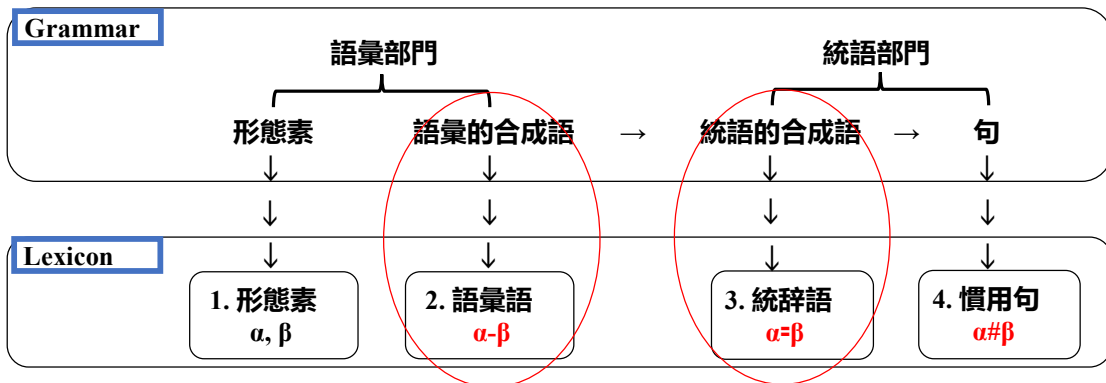
- ✓馬山チワン語のPA合成語は、すべて統語部門で形成される。
 —統語部門の第一姉妹関係の制約を受けたPA合成語の一部は語彙化（統辞語化）
- ✓北京官話のPA合成語は、基本的に統語部門で形成される。
 —統語部門で形成されたPA合成語の一部は語彙化（統辞語化）
- ✓連雲港方言のPA合成語は、音韻部門で形成される。
 —音韻部門で形成されたPA合成語の一部は語彙化（韻律語化）

42

42

多音節言語の合成語は、語彙部門と統語部門の双方で形成
(Cf. Lapointe 1980, Baker 1988, 影山 1993)

図3 多音節言語における語形成モデル

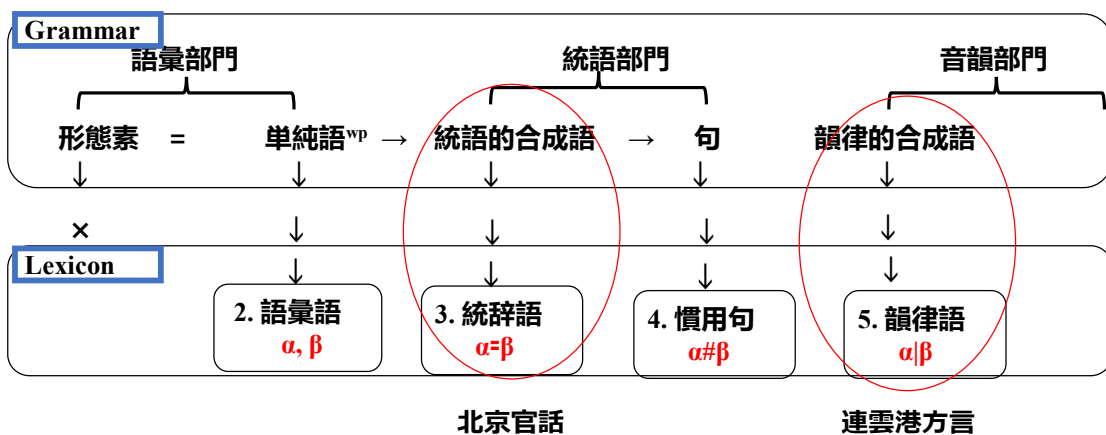


43

43

単音節言語の合成語は、統語部門か音韻部門で形成される。
(Cf. 沈 & 章 2023)

図4 単音節言語における語形成モデル



44

44

参考文献

- Baker, Mark. C. 1988 *Incorporation--A Theory of Grammatical Function Changing*. The University of Chicago Press.
- 蔡培康. 1987. 「武鳴壯語的連続変調」 『民族語文』, Vol.1. pp. 20-26.
- 蔡維天 2014. 《从微觀到宏觀—漢語語法的生成視野》, 商務印書館。
- Comrie, Bernard. 1981. *Language Universals and linguistic typology*. Oxford: Basil Blackwell. 松本克己・山本秀樹訳『言語普遍性と言語類型論』, ひつじ書房.
- Chao, Yuen-Ren. 1948. *Mandarin Primer, An intensive Course in Spoken Chinese*, Harvard University Press. 李榮 (編譯) 1952. 『北京口語語法』 開明書店.
- Chao, Yuen-Ren. 1968. *A Grammar of Spoken Chinese*, University of California Press, Berkeley, California.
- 馮勝利. 1997. 『漢語の音韻、詞法与句法』. 北京: 北京大学出版社.
- 早田輝洋. 1999. 『音調のタイポロジー』. 大修館書店.
- Hayes, B. 1995. *Metrical Stress Theory: Principles and Case Studies*. University of Chicago Press.
- Hyman, Larry M. 2007. “How (not) to do Phonological Typology: The Case of Pitch-Accent,” *UC Berkeley Phonology Lab Annual Report*.
- 影山太郎. 1993. 『文法と語形成』, 東京: ひつじ書房.
- 影山太郎. 1995. 『動詞意味論－言語と認知の接点』, 東京: くろしお出版.

45

45

- Kageyama, T and Shen Li 2018. Resultative constructions in Japanese from a typological perspective, Prashant pardeshi and Taro kageyama (eds.) *Handbook of Japanese Contrastive Linguistics*. Boston / Berlin: Mouton.
- 窪園晴夫. 1995. 『語形成と韻律構造』. くろしお出版.
- Lapointe, Steven. 1980. *A Theory of Grammatical Agreement*. Ph.D. Dissertation. University of Massachusetts, Amherst.
- Roeper, T. and M. Siegel. 1978. “A Lexical Transformation for Verbal Compounds.” *Linguistics Inquiry* 9: 197-260.
- Sapir, Edward. 1921. *Language: An introduction to the study of speech*. New York: Harcourt, Brace and company. ISBN 4-87187-529-6, 泉井久之助 (译) 《言語—ことばの研究》1957, 紀伊國屋書店.
- Selkirk, Elizabeth (1982) *The Syntax of Words*. MIT Press.
- 邵敬敏. 1996. 『現代漢語疑問句研究』上海: 華東師範大学出版社.
- 沈 力. 1998. 「浅述汉语动词的分离」 『中国語学』(日本中国語学会)245号。
- — —. 2004. Aspect agreement and light verbs in Chinese: a comparison with Japanese. *Journal of East Asian Linguistics* 13.
- — — 2006 《北京語における動詞の”コピー”と”分離”》, 峰岸真琴編《言語基礎論の構築へ向けて》東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
- 沈 力・韋彤. 2023. 「連続変調から見た馬山チワン語の語形成」 沈力(ed.)『言語類型論から見た「語」の本質』. 東京: ひつじ書房.
- Siegel, D. 1974. *Topics in English Morphology*, Ph.D. dissertation, MIT.
- 孫銀新. 2013. 『現代漢語詞素系統研究』. 北京: 中国社会科学出版社.
- 徐通锵. 2005. 『漢語結構的基本原理—字本位和語言研究』青島: 中国海洋大学出版社.

46

46

- 王洪君.2011.『基于单字的現代漢語詞法研究』北京：商務印書館.
- Wang, W. S.-Y. 1967. "Conjoining and Deletion in Mandarin Syntax," *Monumenta Serica* 26, 224-236.
- Whaley, Lindsay J. 1997. *Introduction to Typology : The Unity and Diversity of Language*. California: Sage Publications.
- 尹斌庸. 1984. 「漢語語素的定量研究」 『中国語文』 no.5, 338-347.
- Yip, Po-Ching. 2000. *The Chinese Lexicon: a Comprehensive Survey*, New York: Routledge.
- 庄会彬. 2015.『漢語的句法詞』北京：北京語言大学出版社.